

報道関係者各位

令和元年 11 月 22 日
株式会社佐賀電算センター

嬉野市と業務効率化に向けた DX 技術導入の共同実証を開始します

佐賀県嬉野市（市長：村上大祐、以下嬉野市）と株式会社佐賀電算センター（本社：佐賀県佐賀市、代表取締役社長：宮地大治、以下佐賀電算センター）は、自治体の業務効率化に向けた DX 技術導入の共同実証を開始致します。DX 技術のうち、RPA と AI-OCR を利用して業務量を削減することで働き方改革を進め、市民サービスの充実につなげていきます。

1. 実証事業の背景

嬉野市では第 2 次総合計画の実現に向けて、業務の効率化と職員の残業時間抑制に取り組んでいます（総合計画 6-4）。目標達成に向けての施策として、デジタル技術（DX 技術）に着目しました。DX 技術のうち、ソフトウェアロボットの RPA 及び AI の機能を用いた OCR を活用することで、業務量の削減を行い更なる市民サービスの充実につなげていきます。

また佐賀電算センターは佐賀県内において、先んじて DX 技術導入のコンサルティングを行ってまいりました。佐賀電算センターが培ってきた技術とノウハウをもとに、自治体業務の効率化を嬉野市と共同で実証し、佐賀県内の働き方改革に寄与してまいります。

2. 実証事業の内容とスケジュール

嬉野市 市民福祉部及び行政経営部の業務を主な実証範囲として、RPA 及び AI-OCR の導入実証を進めます。

- ・ 10 月 実証範囲及び目標の決定
- ・ 11 月 トライアル導入
- ・ 12 月 評価・検証

3. 今後の予定

共同実証の結果は令和 2 年 1 月にプレスリリースする予定です。

*デジタルトランスフォーメーション（DX）とは、データとデジタル技術を活用して製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務・組織・プロセスを変革し、競争上の優位性を確立することです。

*RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、パソコン上で行う定型的な作業を自動化し、業務量を削減するツールです。

*OCR（オプティカル・キャラクター・レコグニション/リーダー）とは、手書きや印刷された文字をスキャナにより読取りデジタルデータ化する技術です。

本件に関する連絡受付先

株式会社佐賀電算センター 公共事業部営業部 副島・澄川

電話 0952-34-1511

以上